

青森県看護師等サポートプログラムに基づく平成28年度の実施状況(主要事業抜粋)

事業名	主体実施機関	実施状況	課題及び今後の取組の方向性
1 県内就労の支援 高校生の1日看護体験・進路説明会	県看護協会・医療機関・高等学校	○ 高校生一日看護体験(県看護協会) 実施期間:7月29日～8月10日 実施施設:病院38、老健1 (H27:37病院,1老健) 参加者数:502人 (H27:523人) ○ 看護大学等進路説明会(県看護協会) 実施日:7月30日 参加校:看護系大学6校、看護学校2校 (H27:同数) 参加者数:257人 (H27:267人)	・アンケート結果を分析し、内容を次年度の事業に反映させる。 ・看護師を志す学生の増加に向け、取組を継続していく。
オープンキャンパス	養成校	○ オープンキャンパス(H28状況) 大学6校、看護学校2校、5年一貫校2校、准看護養成所3校 (H27:大学5校、短大1校、看護学校2校、5年一貫校2校、准看護養成所3校)	・養成校情報交換会等を活用し、県と連携できる取組等を検討する。 ・全養成校に開催を呼びかける。
就職相談会 就職情報冊子の作成・配布 県予算:112千円	医療機関・福祉関係機関・養成校・県	○ 就職相談会(県):例年2月開催 参加学生 参加施設 H26 88名 39施設 H27 52名 52施設 H28 28名 41施設 ○ 就職情報冊子 H27 就職相談会で配布かつ青森県HPに掲載(掲載施設:33施設) H28 上記に加え、各学校養成所、ハローワークに配布(掲載施設:40施設)	・就職相談会に関しては、養成校情報交換会等で実施時期、場所、見直しを検討する。 ・就職情報冊子に関しては、掲載施設の増加やメディアを使った周知、全養成校在学学生への配布に向けた取組を検討する。
看護師等修学資金貸与 県予算:16,200千円	県・養成校	○ 修学資金貸与(県) 平成28年度実績 新規貸与者数:25人 継続貸与者数:25人 (H27:新規22人、継続29人) ★貸与者の特定施設への定着率(H28末時点で特定施設へ勤務状況) H21～H26貸与者 定着率:71.3% 新規150人 → 特定施設で勤務者107人	・引き続き、特に不足感の大きい200床以下の病院及び診療所への定着に繋がるよう貸与を継続し、県内定着を図る。
ナースセンター (無料職業紹介・働き方・進路相談・再就職支援など) 県予算:20,714千円	県看護協会・県	○ ナースセンターによる職業紹介(県→県看護協会委託) ★無料職業紹介による就職者数 就職者数 延求職者数 延求人数 H26 209人 3,288 4,673 H27 180人 2,734 5,825 H28 280人 1,736 4,505	・平成28年度の就職者数は、大幅に増加し、過去最高を更新。求職者が減少している。 ・求人・求職の動向調査から訪問看護ステーションに対する求職が少ない一方、求人倍率は高い現状から、訪問看護ステーションの採用増に向けた取組が必要である。
28新規 看護職員資格取得特別対策事業 県予算:22,103千円	県医師会・県・医療機関・福祉関係機関・養成校	○ 事務局(県→県医師会委託) ★医療機関等とひとり親家庭の親又は子とのマッチング成立 H28 6名 (内訳)親2名、子4名(看護師課程1名、准看護師課程5名) ★応募者数 41名(親:28名、子13名) 応募医療機関数 11医療機関	・マッチングを希望するひとり親(子)は、希望者多数あるが、医療機関はまだ少ない現状がある。 ・本事業の深化(活性化)のため、マッチングに応募する医療機関の増加に向けてPR等の取組を進める。

事業名	主体実施機関	実施状況	課題及び今後の取組の方向性
看護師等養成所運営費補助 県予算:115,430千円	県	○ 看護師等養成所運営費補助事業(県) ・対象:民間立・独立行政法人立8校10課程 県内就業率や専任教員の配置等に応じた調整率を導入し補助金交付 ★補助対象養成校県内就業率 H27 80.8%(県内全養成校19校21課程:55.8%)	・県内就業率の改善のために、4年生大学、5年生の一貫教育校の卒業生の県内就業を促進する取組(改善)が不可欠である。
看護師等実習指導者講習会 県予算:2,982千円	医療機関・県看護協会・県	○ 看護師等実習指導者講習会(県→県看護協会委託) 延べ日数 受講者 H26 40日 32人 H27 40日 29人 H28 40日 30人 ★実習指導者講習会の修了者がいる病院の割合 (看護師等養成所の実習施設となっている病院のうち) H28末 79.2%(53病院中42病院)	・看護師等実習指導者講習会について、一定数の受講者がいることを勘案し、事業実施内容を検証のうえ事業を継続していく。 ・実習環境の改善のため、今後も継続して実施していく。
看護教員養成 (看護職員キャリアアップ推進事業) 県予算:648千円	養成校・県	○ 看護教員養成講習会参加支援事業 講習会受講補助実績 H26 2人 H27 1人 H28 6人 ★専任教員養成講習会未受講者数 H26 19人 H27 21人 H28 16人	・看護教員養成講習会の未受講者の減に向け、事業を継続していく。
新人看護職員研修 県予算:16,343千円	医療機関・県	○ 新人看護職員研修事業(県) H26 27病院 H27 30病院 H28 28病院 ★ 新人看護職員離職率 補助実施施設 青森県 H25 4.2%(31機関:375人) 4.5% H26 5.4%(27機関:311人) 8.1% H27 6.5%(30機関:309人) 7.0%	・新人看護職員研修を行っている病院は離職率が低いというデータがある。 ・勤務環境の改善やキャリア形成支援等に取り組むことが、離職率の改善につながることから、研修事業を行う病院の増加に向け取り組んでいく。
訪問看護の推進 (訪問看護推進事業) 県予算:4,000千円	県・医療機関・訪問看護ステーション	○ 訪問看護推進事業(県→全日病青森委託) 訪問看護推進協議会 多職種による協議会開催 訪問看護に関する研修会開催 H28年度受講者:100名程度	・従事者数の確保・大規模化(集約化)支援のため、訪問看護に対するハード、ソフト面に対する支援を継続して行う。 ・地元の看護師が地元の訪問看護ステーションに勤務することで、24時間対応できる訪問看護ステーションが増加するよう取り組んでいく。
認定看護師等養成 (看護職員キャリアアップ推進事業) 県予算:3,400千円	県・医療機関・大学	○ 認定看護師等育成支援事業 県補助実績 H26 11人 H27 10人 H28 5人(うち1名助産師課程) ★認定看護師数 H26 149人 H27 165人 H28 179人	・認定看護師の増加に向け、事業を継続していく。 ・訪問看護などの認定分野で在宅医療、回復期に関係する分野を希望する医療機関等を優先的に支援していく。

2 キャリアアップ応援

	事業名	主体実施機関	実施状況	課題及び今後の取組の方向性								
2 キャリアアップ応援	助産師出向支援導入事業 県予算:880千円	県・県看護協会・医療機関	○ 助産師出向支援導入事業(県→県看護協会委託) 助産師出向システム導入に向けての実態調査協議会の開催 ★H29に、県病からむつ総合病院へ3ヶ月ずつ2名の出向支援開始	・本事業の実施について、関係者の理解の下、出向意思のある医療機関とのマッチングの増加を図る。 ・今後も事業を継続していく。								
	28.9補正 新人訪問看護職員研修 県予算:11,720千円	県・訪問看護ステーション	○ 訪問看護ステーション補助実績 H28 1ステーション ★訪問看護ステーションにおける <table border="1"> <tr> <td></td> <td>従事者数</td> <td>離職率</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>564人</td> <td>21.0%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>711人</td> <td>15.1%(H27数値)</td> </tr> </table>		従事者数	離職率	H26	564人	21.0%	H28	711人	15.1%(H27数値)
	従事者数	離職率										
H26	564人	21.0%										
H28	711人	15.1%(H27数値)										
3 魅力ある職場づくり	ワーク・ライフ・バランス推進	医療機関・県看護協会・県	○ 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業(県看護協会) ・看護職員が働き続けられる職場づくりに取り組む病院を支援 ・平成28年度:16病院を対象に実施中(公立8病院、民間立8病院) (H27:14病院(公立7、民間立7))	・事業実施で得られた課題やノウハウを他病院へ活用する等勤務環境の改善を図る医療機関が増加するよう取り組んでいく。								
	処遇改善	医療機関・福祉関係機関	○ 医療勤務環境改善支援センター運営事業(県、労働局、日本医業経営コンサルタント協会、県社労士会) ・医療勤務環境改善セミナー 受講者:のべ31名 ・個別支援 2病院 ・医療機関訪問 2病院	・センターの取組等についてPRしていく。 ・セミナーの開催等によるセンターの取組(役割)及び相談窓口の設置等の更なる周知を進める。 ・勤務環境改善に具体的に取り組む医療機関の増加に向けて取組を進める。								
	医療勤務環境改善支援センター設置	県・労働局・医療機関										
	28新規 病院内保育所運営費補助 県予算:10,000千円	県・医療機関	○ 病院内保育所運営費補助(県) H28 1病院 ★青森県内における病院内保育所を運営している病院数:14病院	・本制度のみならず、労働局や内閣府における事業の活用により、院内保育所を運営している病院が増えるよう取組を進める。 ・24時間保育や病児保育といった利用者のニーズに対応できるようになることが望ましい。								
	28.9補正 在宅医療魅力向上推進事業 県予算:5,473千円	県	○ H28に訪問看護に関するテレビCMの作成 ○ H29にテレビCMの放映(H29年7月～H30年3月)、PRイベント開催(H29 2回)、訪問看護に関するアンケート調査の実施	・29年度のテレビCM、PRイベントの成果等を踏まえて、30年度の継続を検討する。 ・訪問看護の周知を図り、訪問看護の利用促進を図る。 ・地元の看護師が地元の訪問看護ステーションに勤務することで、24時間対応できる訪問看護ステーションが増加するよう取り組んでいく。								